

2020年5月20日発行(46号 理事会特集) 夕陽会広報部

新型コロナウイルスの影響で、大崎第一地域センター集会室で計画されていた理事会を中止し、**テレワーク会議**(メール・添付ファイルと手紙の併用)に切り替えた。全理事・監事に案件を事前に文書で配布しておき、議案ごとに賛否・意見を集め、その結果を再配布し、4月20日に議事を集約した。全ての議案はほぼ役員会提案通り可決・承認された。

4月20日例年通り香港園において開かれる予定であった**総会**は、**三密の冠たるものであり**一度は5月へと**延期**した。しかし、客観情勢はさらに悪くなったため、4月20日時点では総会開催を未定とし、時期を見て**開催するか もしくは中止するかを、役員会に一任すること**に決まった。

夕陽会会則 第8条 (理事会)

第1項：理事会は理事および監事で構成され、**総会に諮る事項**および総会開催を待てない緊急事項の**審議を行う**。ただし、議決事項は直近の総会に報告することとする。

と規定されているように、次回総会開催まで、理事会決議(特に活動計画、それを支える予算)に従って、町会活動を継続することとなった。

テレワーク理事会に先立ち、4月6日の**役員会**(9人)を、**実験的にEメールのやり取りの会議に変え**、意思疎通・審議が十分機能するか否かを体験した。一か所に集まって議論するのと比較し、手間がかかる時間がかかるという不便さはあるが、発言が文字になっているので、より理解が深まるという利点もあった。

2020年度春 夕陽会理事会議事

1. 2019年度の活動報告：(椎野)
 2. 2019年度決算報告：塚田、小川・田中(2頁参照)
 3. 2020年度新理事メンバーおよび役員候補提案(椎野 3頁参照)
 4. 2020年度の活動提案
一般活動計画(椎野)
 5. 2020年度予算提案(佐藤 2頁参照)
 6. その他
夕陽ヶ丘街づくり協議会活動報告(七沢 3頁参照)
- * 先送りした議題(相対で十分議論したい議題)
- ・ 町会名変更
 - ・ 町会規約の改正

予算・決算報告

【収入の部】

項目	2020年 予算	2019年	
		決算	予算
町会費	1,540,000	1,538,870	1,530,000
補助金(区より)	720,000	715,577	750,000
雑収入(還付金)	40,000	40,500	60,000
受取利息	0	13	0
小計	2,300,000	2,294,960	2,340,000
カメラ補助金 1年遅れ5/6	1,013,000	495,000	495,000
中計	3,313,000	2,789,960	2,835,000
前年度繰越金	1,021,857	1,369,428	1,369,428
合計	4,334,857	4,159,388	4,204,428

【支出の部】

項目	2020年 予算	2019年	
		決算	予算
人件費(謝金)	150,000	137,000	170,000
防災対策費	190,000	184,000	190,000
交通防犯対策費	500,000	472,623	500,000
地域環境保全費	10,000	0	10,000
青少年育成費	150,000	88,000	150,000
敬老(慶弔)費	140,000	131,105	160,000
諸寄付関係費	250,000	252,000	250,000
渉外費	150,000	124,000	200,000
会議費	300,000	300,595	250,000
修繕費	10,000	0	10,000
印刷費	320,000	317,360	320,000
通信費	70,000	61,428	70,000
事務費	45,000	41,692	45,000
雑費	15,000	14,728	15,000
小計	2,300,000	2,124,531	2,340,000
カメラ更新 (1/6は防犯)	0	1,013,000	
中計	2,300,000	3,137,531	2,340,000
次年度繰越金	2,034,857	1,021,857	1,864,428
合計	4,334,857	4,159,388	4,204,428

■2019年度決算上のコメント

●収支 35万円の赤字

支出22万円減となったが、防犯カメラ関連の補助金が1年遅れのため52万円赤字

●収入: 予算に対し 5万円減

町会費: ほぼ予算通り集金

補助金: 敬老イベントの規模が小さくなり、昨年より3.5万円減

●支出: 予算に対し 22万円減

防犯費: 防犯カメラ更新に伴い 1,166,000円を一括処理したが、費目別予算で153,000円を充当し残1,013,000円は、2020年度区からの補助金振り込みを充当する

青少年: 6万円減。子ども会関連は年度末処理だったが、新型コロナの影響か? 2019年度は請求なし

渉外費: 会長不在、祭りの中止など、渉外事案が減少

会議費: 4月の懇親会の参加者が予想より多く、5万円増

□2020年度の予算について

○支出総額≒収入総額 の方針のもと、昨年実績を参考に各項目を査定

ただし新型コロナウイルスの影響は読めず、各種イベントが中止されることが予想され支出は減となるだろう

○防犯カメラの補助金が入金されると、繰越金が199万円になり、2019年度予算を上回る

ただし、新たな更新3台の申請が認められ補助金の入金で2021年度にずれ込むと、同じことが起こる

2020年度夕陽会 理事 監事 役員

役職	氏名	役割分担・備考
会長	西 春雄	
会長代行	椎野 開八郎	
副会長	中村 胤夫	総務
副会長	佐藤 至弘	広報 会計
副会長	塚田 晴子	出納 廃棄物減量等推進員
副会長	七澤 基	環境
副会長	高橋 和宏	防災
副会長	杉野 秀子	防犯
副会長	佐久間 雅良	防犯
副会長	柳澤 浩一	防災
監事	小川 大助	青少年対策地区委員
監事	田中 稀一郎	
理事	片岡 恵子	
理事	與倉 守英	青少年対策地区委員
理事	鴻田 次章	
理事	杉山 敏朗	

役職	氏名	役割分担・備考
理事	小谷 和晴	青少年対策地区委員
理事	石川 通敬	
理事	伊東 銀水	
理事	澤原 義明	
理事	磯部 日出夫	
理事	長野 慎吉	
理事	柳澤 雪子	青少年対策地区委員
理事	斉藤 静子	青少年対策地区委員
理事	今井 達郎	健康づくり推進委員
理事	金子 孝彦	
理事	洪 愛舜	子ども会
理事	荒木 鈴江	民生委員
理事	宮下 良平	
理事	岡野 しげ子	
理事	林 和美	

* 網掛は新任

★夕陽ヶ丘街づくり協議会 報告

◎2019年度実績

支出 庶務費支出： 約 0.1万円 繰り越し： 約 77万円
 事業費支出： 約 35万円 繰り越し： 約 2,846万円
 * 花と緑の支援3件
 * 風速計の設置最後の支出

◎2020年度計画

- ① 花と緑の事業継続
- ② 必要ならば、防犯カメラ新設を金銭的に支援
- ③ 住民交流事業（街づくりをソフト的に支援 アクティブシニア ネットワークづくり）

④ 新規事業計画

4-1. 「街づくり勉強会」開催

東急グループから当地域への関心が寄せられており、昨年度意見交換会が3回開かれた。住民主導の街づくりを学ぶ機会を持ち、将来像を共有する機会としたい。

4-2. 風観測継続と新規観測

従来の風観測は新たな出費を伴わないカタチで現在も進行中。(8箇所・11基)
 JR社宅跡地に建設中の高層マンション群による強風に対処するため、新たな観測を始めたい。
 JRグループとの話し合いは進行中であるが、観測装置設置に協力が得られない場合に備え
 予算措置を講じておく。

4-3. カトリック目黒教会に相当額の寄付をする件

当協議会は、教会より提供いただいている【歩道状空地】の原状回復の義務を負っており、いつ要求されても即工事をしなければならない。
 この不安定な関係を解消するため、【将来回復工事に必要な費用+a】相当額を寄付することにより、今後の扱いのすべてを地権者の教会側にゆだねたい。
 なお、過去の覚書の連名当事者【夕陽会】を通して寄付することもありうる。

■ JR 東日本社宅跡地開発 - その2

JRによる高層分譲住宅棟と高層賃貸住宅棟とオフィス棟を建設する大規模開発は、2023年9月まで3年9カ月の長期にわたって行われる。本年1月15日に周辺擁壁の改修工事が着工された。この擁壁は、過去に大雨で崩落事故が発生しており、行政からも早期改善が指導され、安全面を優先して先行された。

4月には工事現場事務所等3棟が開設された。5月15日の高層ビル群の本格着工に向けて、着々と現地の整備が進められている。(新型コロナの影響は不明)

夕陽会としては、目黒駅から敷地までのアクセス道路の改善、建設後想定されるビル風の発生に対する方策の検討を事業者申し入れている。(佐久間 雅良)



■ パークタワー目黒ドレメ通り側に防犯カメラ新設

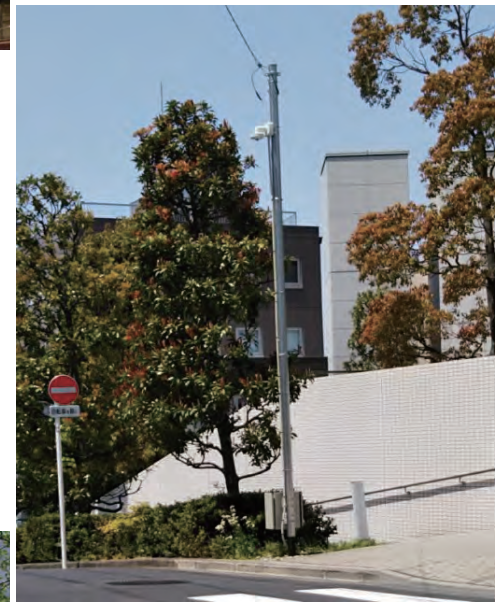
安全・安心な住環境の実現を目指し、夕陽会では2009年に防犯カメラ9台を稼働させ、さらに2011年に7台を追加設置している。

今回新たに、人や車の通行量の多いドレメ通りの入口部にあたるパークタワー目黒の歩道緑地に、防犯カメラを増設した。

(稼働開始3月4日) ご協力いただいたパークタワー目黒様に、紙面を借りて感謝申し上げます。

また、昨年度は2011年に設置したカメラ3台を更新した。

(佐久間 雅良)



■ 教会の桜伐採

カトリック目黒教会正門周辺にある桜の木2本が2月15日に伐採されました。信徒はもちろん、町会員にも親しまれた桜ですが、昨年の台風の時、かなり太めの枝が折れました。(幸い事故はなし)

宮下神父のお話では、出入りの庭師に相談したところ、中心部がかなり痛んでおり、また大きな台風があると倒木の恐れがあるとのこと。事故が起こってからでは遅いと判断し、リスク管理のため、思い切って伐採を決めたとのことです。

来年には、残りの2本も伐採予定で、その後土を入れ替え、新たに苗木を植えたいとの計画だそうです。

写真を見る限り、中心部はまだ空洞にはなっていませんが、年輪は消え枯れた状態でした。根と周辺部が生きているので、孫生が生えています。切った枝を活けて置いたら、元気に白っぽい花が咲きました。

そういえば、桜の咲く頃の樹液はピンク色をしているとか、それを草木染に使うとか聞いたような覚えがあります。(文責 佐藤 至弘)

